

野外活動

「ヌーディの家」の子ども達は、地域の中でより多くの方々に活動を知ってもらうために様々な活動を行っています。毎年、日本からツアーの方々がいっぱいます。子ども達は日本人の方々との交流をとても楽しみにしています。そして、ツアー最終日「さよならパーティ」では、子ども達が舞台の上で踊ります。この踊りは、彼らが独自で考えたものです。パーティでは村人が100人以上集まります。「今まで、毎日練習してきた成果を発揮しよう」子ども達は緊張した表情です。踊り終えた彼らは、充実した面持ちです。



バヤオ県ジュン郡でのエイズ・子どもの権利啓蒙イベント。「ヌーディの家」の子どもも参加し、踊りを披露しました。ユースグループのみんなと記念撮影！

イベントにはパネルコーナーがあり、エイズ・性・権利についてなどを、絵と写真を使ってわかりやすく説明しています。ここに、コドモファンド・「ヌーディの家」についても展示しました。

イベントに訪れていた親子が真剣に、パネルを見つめています。もっと多くの人達に、知ってもらい地域の中で、「ヌーディの家」が新しい風になればと願っています。



ガン・アン・キャット・アルン(アン・アルンはコドモファンドの奨学生):「大勢の観客がいて、緊張したけど、楽しかったよ。」ジュン郡バントン小学校にて。

3月28日、パヤオ県ジュン郡フェカオガム村健康公園にて、「エイズ・子どもの権利啓蒙コンサート」が行われました。ジュン郡はタイでも、HIV/AIDSの感染率が非常に高い地域であり、子どもの虐待問題など、多くの問題を抱えています。この活動は、地域の人々にHIV/AIDSや子どもの権利について、よりもっと多くの方々に知っていただくために、CARE、ユースグループ、HIV/AIDS感染者グループが中心となって、開催されました。このイベントに、もちろん「ヌーディの家」の子ども達も参加しました。みんな「ヌーディの家」のシンボルにと、手描きのT-シャツも作りました。



エイズ啓蒙イベントでコドモファンドの活動パネルを真剣に見つめる親子。多くの村人にコドモファンドについて、知ってほしい。